

SUCCES 土留弾塑性解析（偏土圧） メンテナンス履歴

Date	Version	修正項目
2015/10/30	7.04	<p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「切梁」の入力画面で「H 鋼材本数」を 2 本以上とした後に、切梁バネ定数を直接入力に変更すると、支保工計算の切梁軸力で「H 鋼材本数」が考慮されずに過大な切梁軸力で計算されますので修正しました。</li> </ul>
2015/06/09	7.03	<p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロテクトを認証しない場合がありますので修正しました。</li> </ul>
2015/05/13	7.02	<p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイの文字サイズが「小」以外の場合、設計指針の選択画面が乱れるので修正しました。</li> </ul> <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロテクトライブラリを一部見直しました。</li> <li>・ハット形鋼矢板のサイズメニューの拡充に伴い、SP-45H、SP-50H を追加しました。</li> <li>・ソイルセメント柱列壁の芯材を隔孔設置で割付ける場合のアーチ厚とアーチライズをゼロ入力可能としました。</li> </ul>
2014/01/31	7.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねっとさーば Cloud 版をリリースしました。</li> </ul>
2013/05/10	7.01	<p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤改良「有り」で保存した土留慣用計算のデータを土留弾塑性解析(土木)で読み込んだ場合、施工ステップ 2 以降の土質定数の「弾性体」スイッチが、誤って ON になり、地盤の塑性化を考慮した計算ができない不具合を修正しました。さらに、不具合に該当する土留弾塑性解析(土木)データを土留弾塑性解析(偏土圧)で読み込んだ場合も生じます。</li> </ul> <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 8 に対応しました。</li> <li>・ [ヘルプマニュアル]を Adobe Reader XI に対応しました。</li> </ul>
2012/10/16	7.00	<p>《機能追加項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工ステップに応じた上載荷重強度の指定が可能です。重機の有無や重機の離れに応じた計算に対応します。</li> <li>・ Ver6.の荷重増分法では、前ステップとの荷重増減は掘削側のみとしていましたが、掘削側と背面側の両方を選択可能としました。施工途中で上載荷重強度が変化する場合は、背面側の荷重増減を考慮してください。</li> <li>・ 火打ち計算で、軸力と曲げを同時に受ける座屈の照査に対応しました。</li> <li>・ 火打ちボルトの断面積を指定入力可能としました。高力ボルトと普通ボルトで使い分けが可能です。</li> <li>・ 支保工の座屈照査において、道路橋示方書(平成 24 年)「4.3 軸方向力と曲げモーメントを受ける部材」によるオイラー座屈応力度の計算に対応しました。</li> </ul> <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掘削側水位が掘削底面より浅い場合（水中掘削）においても動水勾配を考慮した水圧計算を可能にしました。</li> <li>・ 左右両壁を描く断面力・変位図に切梁設置深さを示すマークを追加しました。</li> </ul>